



第12回 **基幹研修 I in 東京**

～ソーシャルワーカーとしてあり続けるために～



ソーシャルワーカーの原点を見つめよう。

【日時】 2019年10月6日（日）

【会場】 大橋会館 2階 205教室

目黒区東山3-7-11

主催 **一般社団法人 東京精神保健福祉士協会**

<http://www.tokyo-psw.com/>

（公益社団法人日本精神保健福祉士協会 委託事業）





【基幹研修 I とは？】

日本精神保健福祉士協会は、専門職団体として、精神保健福祉士の職務に関する知識・技術ならびに倫理・資質の向上を図ることを目的として 2008 年に生涯研修制度を創設しました（この制度の概要は日本精神保健福祉士協会のHP等でご確認下さい）。このうち基幹研修 I（本研修）はおおむね入会から 3 年未満の構成員を対象としており、東京精神保健福祉士協会が事業を受託しております。

第 12 回研修を下記要綱で開催致します。「基幹研修 I」受講対象の皆さま、どうぞご参加下さい。

【日程・プログラム】 <10月6日（日）>

9:15～9:35 受付

9:35～9:45 開講式 挨拶・オリエンテーション

9:45～11:15 講義 I 「公益社団法人日本精神保健福祉士協会の役割と課題」
講師 関原育（NPO 法人ほっとすぺーす）

11:15～11:30 休憩（15分）

11:30～13:00 講義 II 「精神保健福祉士の専門性 I」
講師 三木良子（帝京科学大学）

13:00～14:00 昼食休憩（60分）

14:00～15:30 講義 III 「精神保健福祉士の実践論 I」
講師 山本和弘（昭和大学附属烏山病院）

15:30～15:45 休憩（15分）

15:45～17:15 演習 I 「グループワーク」

17:15～17:30 修了式（修了証書授与）・閉講式

◆◆ 定員 ◆◆ 50名（先着順です。定員になり次第、締め切ります。）

◆◆ 研修費用 ◆◆

参加費 5,500円

テキスト費 2,500円

計 8,000円

第1版（旧テキスト）をお持ちで、
且つ日本精神保健福祉士協会構
成員の方は割引価格 1,500円

※ 日本精神保健福祉士協会生涯研修制度共通テキスト第2版(2013年度改定版)の購入が必須です。旧テキスト（第1版）をお持ちの方も買い替えが必要です。同封のテキスト購入に関する注意事項を御参照ください。

※ 研修費用の指定入金口座は受講決定通知書送付時にお知らせいたします。

※ 原則として参加費の返金は致しません。やむを得ない事由で、当日欠席された場合は研修後に資料をお送り致します。

◆◆ 対 象 ◆◆

1. 東京精神保健福祉士協会 会員（2019年度までの会費を納めている者）
2. 公益社団法人日本精神保健福祉士協会構成員（必要な会費を納めている者）
3. 他都道府県精神保健福祉士協会 会員

※ 日本協会構成員は、ご所属の都道府県支部が属するブロック内での受講が原則です。

※ 日本精神保健福祉士協会非構成員の方で2021年2月末までに入会手続きを済ませた方は、本研修修了が生涯研修制度の研修履歴として認められます。日本精神保健福祉士協会入会申込書と合わせて、修了証書のコピーをお送りください。

※ 基幹研修Ⅰの定める各科目について、遅刻・早退・欠席があった場合は、修了したことになりません。日本精神保健福祉士協会が発行する研修修了書はお渡しできなくなります。ご注意ください。

◆◆ 申し込み方法 ◆◆

申込みにあたり、同封の基幹研修Ⅰシラバスをお読みの上、研修の趣旨をご理解の上、お申込みくださいますようお願い致します。

1. 方法①、②のいずれかでお申し込みください。

※インターネット環境がある方は、方法①でお申し込みください。ご協力の程、宜しくお願いします。

【方法①】 右下のQRコードもしくは、下のURLにアクセスして申込みを行ってください。

基幹研修Ⅰ 申込みフォーム <https://ws.formzu.net/fgen/S97969378/>

※申込みフォームにアクセスしたら項目に入力後、一番下の「内容確認画面へ」を押してください。
その後、内容確認画面にて確認し、「自分にも送信内容のコピーメールを送る」にチェックを入れて、「送信する」を押して完了してください。



【方法②】 本案内に同封の「参加申込書」を個人毎に申込書記載の送付先へ郵送申込み。

2. 申し込み締切 8/18（日）必着。定員超過の場合はお断りの御連絡を申し上げます。

◆◆ 申し込み後の流れ ◆◆

1. 東京精神保健福祉士協会より9/9（月）頃に申込者へ受講決定通知書 or 受講お断り文書を発送。

※ 9/13（金）までに受講決定通知書が届かない場合は、申し込み手続き上で何らかのトラブルが発生している恐れがあります。当日受講ができませんので、必ず下記のメールアドレスにお問い合わせください。

2. 9/20（金）までに申込者が指定口座へ研修費用を入金。
3. 申込者が受講決定通知書持参にて10/6（日）研修へ参加。

◆◆ 問い合わせ方法 ◆◆

メールのみでご対応させていただきます。下記アドレス宛にご連絡ください。原則としてパソコンメールをご使用下さい。

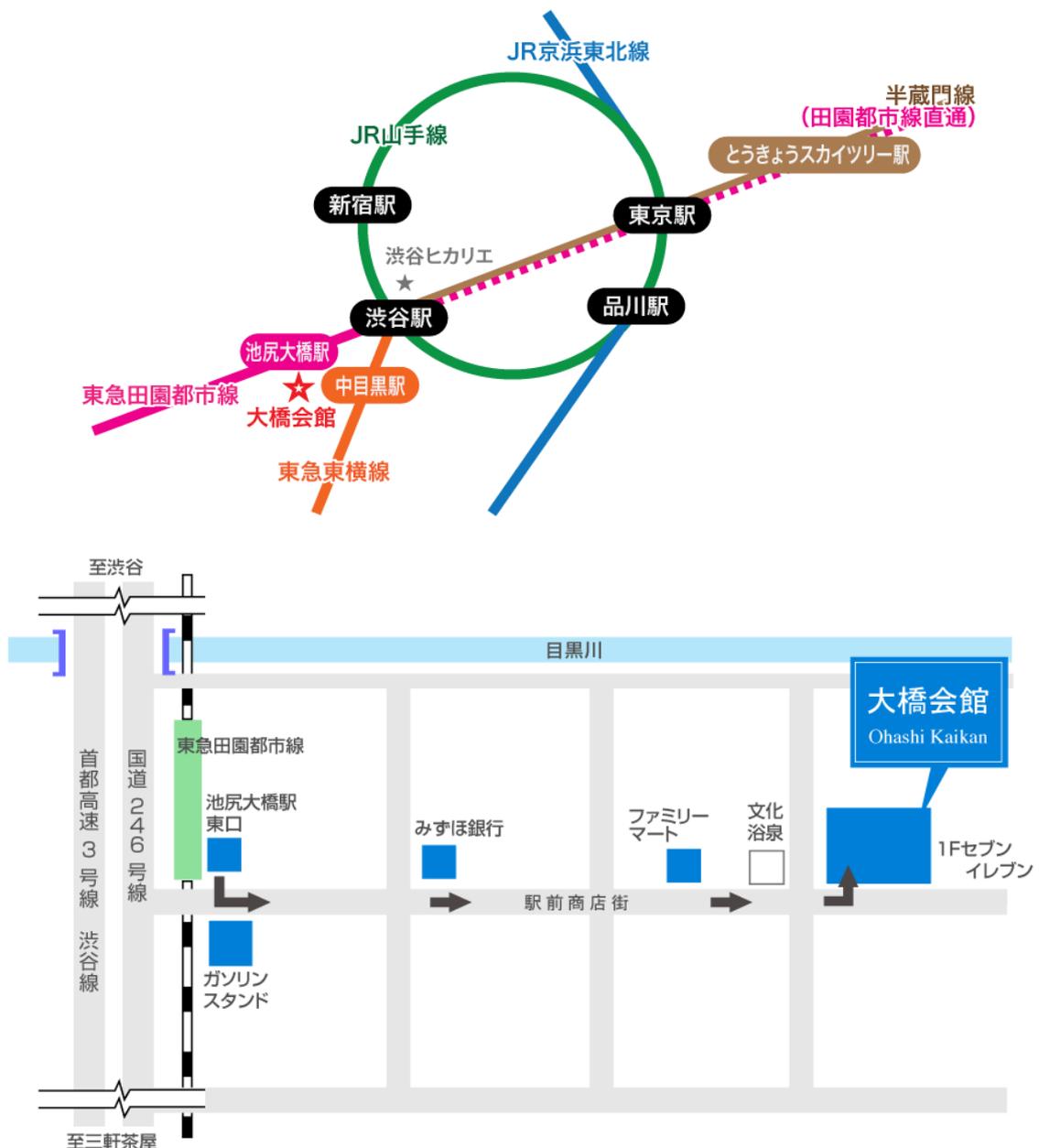
基幹研修Ⅰ 問い合わせ メールアドレス : kensyu@tokyo-psw.com

◆◆ 注意事項（必ずご確認ください） ◆◆

1. 変更・取り消しなどのご連絡、その他のお問い合わせは全てメール（アドレス）のみでお受け致します。申込書送付先及び会場へのお問合せはご遠慮下さい。
2. 研修時に参加者名簿（氏名・所属）を配布します。本名簿には参加者全員のお名前を掲載させていただきますが、所属先については掲載しません。
3. 宿泊のご用意はしておりませんので、ご希望の方はご自身で手配して下さい。
4. 災害保険などは各自でご加入下さい。
5. 昼食は会場付近の飲食店をご利用いただき、なるべく会場外での飲食にご協力ください。

◆◆ 会場アクセス ◆◆

JR『渋谷駅』より、東急田園都市線各駅停車にて1駅『池尻大橋駅』下車、東口から徒歩3分



参加申込書

記入日: 令和 年 月 日

必要事項を漏れなくご記入のうえ、下記送付先まで郵便でお送り下さい。封書にご自身のお名前とご住所、「基幹研修Ⅰ」申込書在中とご記載下さい。

※郵送以外にネット申込みでも対応しております。詳細は開催案内の「申込み方法」を御参照下さい。

《送付先》

〒186-0004 東京都国立市中 1-14-30-1

「一般社団法人 たまぷらねっと 古旗真幸 行」

フリガナ	
氏名	
所属機関	
※現在ご所属がない方は、「なし」とご記入ください。 ※当日配布名簿にご所属は記載されません。	
業務内容(簡単に)	例) 相談援助、デイケア、訪問、福祉サービス事業 など
日本精神保健福祉士協会入会の有無	会員(構成員番号:) ・ 非構成員
東京精神保健福祉士協会入会の有無	会員(会員番号:) ・ 非会員
ソーシャルワーカーとしての経験年数	年
緊急時の連絡先(問い合わせ等させていただくことがあります)	
携帯番号	— — (お持ちでない方は自宅番号)
アドレス	@
公益社団法人日本精神保健福祉士協会発行「生涯研修制度共通テキスト」の所持について	
※別紙「テキスト購入に関する注意事項」をご確認の上、該当に☑して下さい。	
<input type="checkbox"/> 第1版・第2版共に持っていない ⇒ご購入下さい(参加費にテキスト代 2,500 円が加わります)。	
<input type="checkbox"/> 第1版を持っている ⇒割引価格でご購入下さい(参加費にテキスト代 1,500 円が加わります)。	
※日本精神保健福祉士協会構成員のみ。構成員でない方は定価での販売となります。	
<input type="checkbox"/> 第2版を持っている ⇒再購入は不要です。当日テキストをご持参下さい。	
受講決定通知の送付先	〒 —
受講にあたって配慮の必要な方は、内容を具体的に記入してください。	

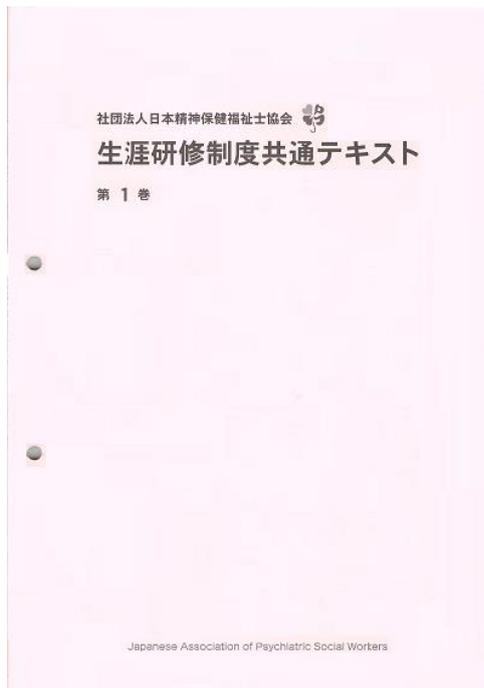
テキスト購入に関する注意事項

基幹研修Ⅰ・Ⅱ・Ⅲは、公益社団法人日本精神保健福祉士協会発行の「生涯研修制度共通テキスト」を使用することが定められており、受講する方は購入が必須となっております。テキストは2013年度に第2版が発行されたことにより、基幹研修を受講される皆様には第2版（下図右側）を日本精神保健福祉士協会から個人毎に購入いただくこととなります。

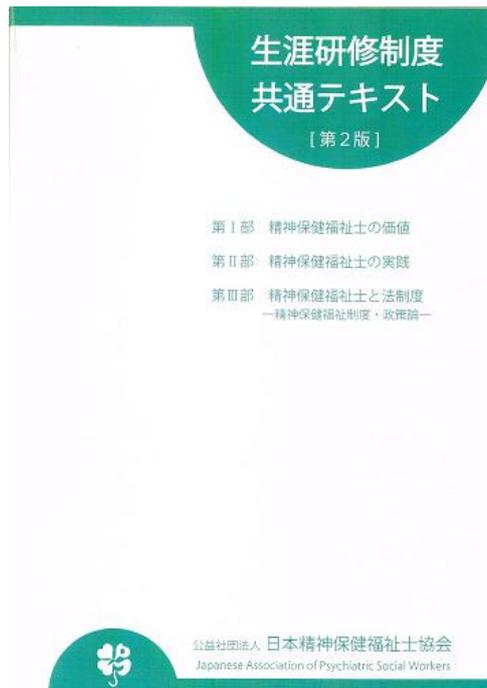
過去に第1版（全3巻、A4ピンク色表紙；下図左側）をご購入の方も、第2版を購入していただくこととなりますが、その際は、第2版（定価2,500円）を割引価格 1,500円 で販売致します。第2版を割引価格で販売するのは、日本精神保健福祉士協会の構成員であることが条件となっております（構成員でない方は定価での販売です）。

以上をご確認のうえ、「参加申込書」のテキスト所持の記載欄の該当箇所にチェックを入れてお申込み下さい。テキストは、当日会場でのお渡しとなります。

×第1版



○第2版



基幹研修Ⅰ シラバス

(公益社団法人日本精神保健福祉士協会・生涯研修制度 基幹研修シラバス (第2版) より一部抜粋)

<獲得目標>

本協会構成員の基本的な知識として、「本協会の歴史と役割」について、我が国における精神科医療・保健福祉の歴史的課題を背景にした国家資格制定にかかわる経緯と専門職団体の使命を踏まえ、現状と課題を理解する。

精神保健福祉士の活動領域と実践の実際を学び、専門職としての主体性を考える機会とするとともに、精神保健福祉士の基本的な「社会的責務」について理解する。また精神保健福祉士の価値と倫理について再確認し、自らの専門性について深める機会とする。

総じて、所属機関における専門性の発揮に必要な基盤を獲得することを目指す。

<講義1> テーマ：公益社団法人日本精神保健福祉士協会の役割と課題

【目的】

本協会の歴史を学ぶ必要性について理解するとともに、精神保健福祉士として専門職団体に所属する意義について理解を深める。

公益社団法人日本精神保健福祉士協会の歴史を振り返り、国家資格化の経緯を理解するとともに、「Y問題」から構築した精神保健福祉士の価値を理解する。協会活動を理解し、本協会の役割と今後の課題について理解する。

<講義2> テーマ：精神保健福祉士の専門性Ⅰ

【目的】

精神保健福祉士としての自らの実践が、精神保健福祉士の価値と倫理に基づくものでなければならないことを理解する。

精神保健福祉士としての立脚点を確認するため、医学モデルと異なる視点である生活モデルについて、特にICF（国際生活機能分類）を踏まえて理解する。

精神保健福祉士としての専門性に基づくかわりについて、自己決定の尊重、権利擁護の視点、人と状況との全体関連性と生活者支援の視点から理解する。

本協会の倫理綱領制定の経緯を講義1とも関連させて理解する。専門職としての研鑽の必要性を再確認し、スーパービジョンの活用方法を理解する。

<講義3> テーマ：精神保健福祉士の実践論Ⅰ

【目的】

精神保健福祉士として求められる基本的な日常業務と役割を理解する。クライアント（利用者）とのコミュニケーション、ニーズの重要性を再認識し、ソーシャルワークの基本原則に基づいた実践の在り方を理解する。

多様化する活動領域と各領域での実践展開と特殊性を理解するとともに、ソーシャルワーク実践の共通基盤を習得する。

<演習 I >

【目的】

グループ討議を通して、

- ・互いに知り合い、支え合う雰囲気づくりを醸成する。
- ・自らの精神保健福祉士としてのあり方や自分の職場を客観視する。
- ・自己の感情や考察を言語化し、自己理解を深めて自らの実践課題を知る。

※詳細なシラバスは公益社団法人日本精神保健福祉士協会ホームページに掲載されております。

<http://www.japsw.or.jp/ugoki/kensyu/document/Syllabus-1.pdf>

公益社団法人日本精神保健福祉士協会 生涯研修制度体系図

